

北九州学術研究都市 大学研究シーズ集

鋼構造や鋼コンクリート合成構造の細長い柱材の設計方法

未来の環境配慮型超高層建築を実現する

研究課題

【課題橋渡しガイド】

構造材料の高強度・軽量化 環境負荷低減型材料 軽量・高強度設計

建築物を建てる際に、構造計算を行って建築物の安全性を確認する必要があります。そのときに役立つような研究を行っています。

私の研究

【研究キーワード】

建築構造 耐震設計 防災 構造物の安定性評価

細くて強いコンクリート充填鋼管構造（CFT）



CFTの特長

細くしても高い構造性能
大きなスパンで使える！
超高層建築向き！

<研究内容>

南海トラフ地震規模に対する**安全性評価**
環境配慮型コンクリートを充填した新しいCFT
より**長寿命**の建築物・より**広い室内空間**を確保するため
>高強度の材料を用いた**効率的な設計・評価法**を提案します

【技術コンセプト】

建築構造を対象とし、理論と実験に基づき、安全でかつ設計の自由度を高められるような設計手法を提案しようとしています。新たに開発される高強度材料や環境配慮型材料を用いた場合などを用いた場合の耐力評価なども行っています。

【とっておきの一枚！】

【研究内容】

建築構造を対象とし、理論と実験に基づき、安全でかつ設計の自由度を高められるような設計手法を提案しようとしています。新たに開発される高強度材料や環境配慮型材料を用いた場合などを用いた場合の耐力評価なども行っています。

研究者



【プロフィール】

北九州市立大学国際環境工学部・大学院国際環境工学研究科
建築デザイン学科（構造・施工）
城戸 将江（キド マサエ）